

## 東北デスティネーションキャンペーン (DC) いよいよ4月スタート！

東日本大震災から10年の節目の本年2021年4～9月の半年間、東北DCが開催されます。これまでの東北への様々なご支援に対する感謝をあらわしつつ、コロナ禍により疲弊した東北観光の回復に向けた起爆剤として、東北内外の多様な業種の企業・団体と連携し、地域の皆様とともに取り組んでまいります。

### ●ポスターやガイドブックの掲出が始まりました！

東北DCのテーマ「巡るたび、出会う旅。東北」をイメージしたガイドブックやポスターについて、東北6県の駅や高速道路のサービスエリア・パーキングエリア、観光施設等での掲出が3月から始まりました。今月中には、沖縄を除く日本全国に展開されます。また、機運醸成の「のぼり旗」などの露出も高まっています。宣伝アイテムをお送りしている箇所の皆様はぜひ積極的に掲出いただき、東北DCを盛り上げていきましょう！



【のぼり旗】



【東北DCガイドブック】



【東北DC5連ポスター】

### ●「東北DC特設サイト」がリニューアル！

3月1日にリニューアルし、内容も充実して更にご覧いただきやすくなりました。「東北DCナビ」から東北DCガイドブックや連携企業・団体の取組みもご覧いただけます。



【東北DCナビ】



【連携企業・団体の取組み紹介】



### ●東北DC特別企画

#### 「巡るたび、出会う旅。東北 デジタル周遊スタンプラリー&クーポン」

東北エリア内の約1,300のスタンプスポット、約1,000箇所のクーポン特典を楽しむ、スマートフォンを使用した巨大スタンプラリーを実施し、「東北の魅力」を巡って楽しむ周遊の旅を促進します。

- ・最大2,000名様に賞品が当たる！
- ・東北を周遊すればするほど、当選確率が高まる！（エリア賞）
- ・7つのテーマラリーも実施！



### ●「TOHOKUサポーター」への登録で、東北DCを盛り上げていきましょう！

皆様ひとりひとりの取組みで東北DCを応援していただく「TOHOKUサポーター」（「Welcome to TOHOKU隊」「TOHOKU Fan」の総称）のお申込みを続々といただいております。登録内容は東北DCホームページ上で公開しております。引き続き皆様のご登録をお待ちしております！

<https://www.tohokukanko.jp/dc/>



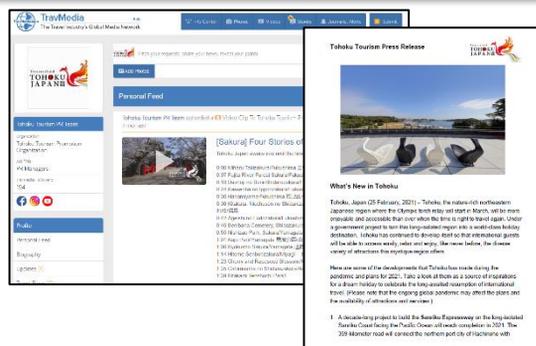
【ホームページ】

## 欧米メディア向け専門サイト「TravMedia」にて情報発信を行いました (2月25日)

海外メディア向けの取組みとして、東観推では、多くの有力海外メディアが登録する「TravMedia」に「東北プレスセンター」を12月より開設しました。3月1日現在、英・米・仏あわせて190名以上の記者にフォローいただいております。

情報発信の第2弾として、「What's New in Tohoku」と題した情報を掲載し、海外メディアからのお問い合わせをいただいております。今年度は3月にも「東北の桜の見どころ」をテーマに情報発信する予定です。

引き続きリモート広報を通じて各媒体への記事掲載を進め、各県市と連携した広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。



【TravMedia 東北プレスセンター画面】

## ニューヨークタイムズ中国版に東北の情報が掲載されました

「The New York Times」の中国語版マガジンである「時」に、東北に関する情報が掲載されました。

本家「The New York Times」とはターゲット層が異なり、中国人富裕層向けにアジアの渡航先でラグジュアリー＆ライフスタイル分野の記事を楽しんで頂ける内容となっております。

このような媒体に東北の情報が掲載されることはコロナ禍において大変有効であるとともに、今回関係性を構築した当該メディアとは、コロナ収束後のプロモーションについても協力体制がとれるなど、副次的な効果が期待できます。

東観推としては、今後とも現地メディアとの関係性構築に努めてまいります。

【掲載記事】



## 台湾における旅行会社向けオンライン東北観光セミナーを開催しました (2月22日、24日~25日)

### ●台北における旅行会社向けオンライン東北観光セミナー (2月22日)

JNTOと連携し、台北の旅行事業者を対象としたWEBセミナーを実施し、アフターコロナを見据えた東北の雄大な自然を活かした魅力あふれるアウトドア系のコンテンツ等を中心に紹介しました。セミナーでは、東北の郷土料理等をふんだんに活用したメニューを用意し、会食しながら台湾現地とのコミュニケーションを図る取組みも実施しました。アンケート結果ではセミナー内容に関する満足度がかなり高く、高評価を得ました。



【セミナーの様子】

### ●台中・高雄における旅行会社向けオンライン東北観光セミナー (2月24日~25日)

台北のセミナーと同様に、新規コンテンツやアフターコロナを見据えたアウトドア系のコンテンツ等を中心に紹介するとともに、夏季のコンテンツ並びに、奥入瀬溪流等の東北を代表するコンテンツ等も併せて紹介しました。また、東北各県等からの生中継も実施し、各県担当者等から様々な方法で地域のPRを行うことで台湾現地とのコミュニケーションを図る取組みも行いました。参加者からは、コロナ禍においてWEBセミナーを開催したことに対して評価をいただくとともに、内容に関して高評価をいただきました。



【セミナー参加者】

## 台北において一般消費者向けにPRを行いました (2月18日~3月1日)

台北で最も賑やかなスポットといわれる「中山エリア」にて、訪日リピーターが多く、台北でも有数の商業エリアにおいて東北情報発信拠点を設置し、台湾の一般消費者に向けて東北の魅力的な観光コンテンツ等を紹介し、渡航解禁後の東北への誘客に向けた取組みを行いました。



【会場の様子】

## 香港のメディア、現地旅行会社等を対象としたオンラインセミナーを実施しました (2月18日)

アフターコロナの商品造成、誘客促進を目的として、各県市が連携し香港市場に向けた東北広域でのオンラインセミナーを開催しました。BtoB向けの内容で現地旅行会社、メディア等約70名が参加しました。

各県市のコロナ対策の状況や、今年度招請したインフルエンサーをゲストに最新の観光スポットを紹介し、認知度向上や参加者との関係性の構築を図りました。

現地旅行会社の経営が厳しいと言われている状況の中で、多くの会社に参加いただけたことはとても大きな成果であり、旅館や観光施設などの具体的なコロナ対策について質問が寄せられるなど、香港の方のコロナリスクに対する意識の高さが確認でき、有意義なセミナーとなりました。



【セミナーの様子】

## 釜石市のモニターツアーとコンテンツ造成セミナーを実施しました

東観推では、かまいしDMC、釜石市等と連携し、誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成として、“釜石の日本一・日本初を巡るガイド付きツアーと「立入禁止！エリア」を巡る「No!三密」オンラインツアー造成・誘客情報発信事業”を実施しています。

### ●現地モニターツアーの実施（2月2日～3日）

「手ぶらOK！釣って食べる海釣り体験 in釜石湾」「三陸ジオパークでシーカヤック体験+BBQ」の2ツアーを実施し、満足度は93%を超えました。

### ●オンラインモニターツアーの実施（2月21日）

「『食べて知る。釜石の持続可能なまちづくり』～釜石のおいしい今だけセットを食べながら～」を販売し、31名が参加しました。満足度は100%で上記の2ツアーの参加意向度では95%を超え、釜石市への興味喚起及び誘客へ繋がる広告効果は絶大でした。

### ●新型コロナウイルス感染症対策に対応した着地型コンテンツ造成セミナー実施（2月15日）

釜石市でのノウハウを型化し、着地型コンテンツを造成する際の要点や感染症マニュアルのひな型、誘客告知時の留意点などをハワイ大学疫学専門家の岡田悠偉人氏を講師に迎えて実施しました。



【オンラインツアーの様子】



【感染症対策セミナーの様子】

## 広域連携マーケティングリサーチ 日本在住の外国人を対象としたグループインタビューを実施しました（2月24日、25日）

今年度のマーケティングリサーチ事業では、アフターコロナを見据えて外国人の新たなトレンドを調査するべく、在留・在外外国人を対象とした調査を実施しています。その一環として、2月24日と25日に日本在留の外国人（中国・台湾・タイ・韓国・英語圏）を対象としたグループインタビューを実施しました。

当日は事前に行っていたWEBアンケート調査の結果を基に、東北の認知度や印象、コロナ禍後の各国の旅行に対する意識などを聞き取りました。域内のDMOにも参加いただき、国によって異なるトレンドや意識を聞き取ることができました。「コロナが落ち着いたら日本や東北に行きたい」という意見が多く、大変勇気づけられるものでした。



【当日の様子】

## 弘前大学第3回地方創生ネットワーク会議（オンライン）パネルディスカッションに紺野専務が参加しました（2月2日）

弘前大学の「第3回地方創生ネットワーク会議」において紺野専務がパネルディスカッションに参加し、「アフターコロナの新たな観光関連産業のあり方」として、着地型旅行商品の販路拡大や、コロナ禍をふまえた新しい旅行スタイルの創出、東北DCへの準備などの東観推の取組みについてお話ししました。他のパネラーからのコロナ禍における青森の地域の観光産業の状況や、青森県内の主要な祭りの経済効果の報告等をふまえ、オンラインでのディスカッションを行いました。



【講演の様子】

# 東北六県商工会議所連合会 観光担当職員オンラインセミナーで紺野専務が講演しました（2月16日）

東北六県商工会議所連合会の「観光担当職員オンラインセミナー」において、紺野専務が「東北観光の活性化について～東北観光を取り巻く環境と東北DCの取組み～」と題して、東北各地の商工会議所の観光担当職員の方を対象に講演を行いました。

東日本大震災後の東北観光復興の取組みや訪日・国内の宿泊者数の推移、4月からの東北DCに向けた様々な業種との連携や「TOHOKUサポーター」等の受入体制整備など、地域全体で取組み、盛り上げていくことについてお話ししました。



【講演の様子】

## 東北歴史文化講座オンライン公開中

東観推では、会員企業の東日本旅客鉄道株式会社との共催により、東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて紹介する「東北歴史文化講座」を開催しております。コロナ禍の状況をふまえて、事前収録をした講座の様態をホームページにて視聴いただくオンライン講座として、公開しております。

### ●第9回（3月5日より公開）

#### 【第1部】秋田（歴史）

テーマ：「菅江真澄（すがえますみ）の図絵で旅するみちのく秋田」～漂泊の旅人は何を発見し、記録したか～  
みちのく・蝦夷地を旅した江戸時代後期の紀行家・菅江真澄の図絵をもとに、旅の見聞、秋田の自然と民俗を訪ね、その遺産の価値についてお話をいただきます。

講師：石川 正己 氏（東京学芸大学教授）

#### 【第2部】福島（文化）

テーマ：高僧・徳一（とくいつ）と理想の仏都～仏像で訪ねる会津の仏教文化～  
平安時代に「北の仏都」といえるほどに仏教文化が栄えた会津地方に伝わる仏像を手掛かりに、その誕生と変遷についてご講演いただいております。

講師：若林 繁 氏（元 福島県立博物館学芸課長）

第8回講座も引き続き公開しております。2月末時点で2,300名以上の皆様にお申込みいただき、東北のより深い魅力を感じていただいております。こちらも併せてご覧ください。

### ●第8回

#### 【第1部】宮城（歴史）

テーマ：「大航海時代と政宗の知略」～慶応遣欧使節と鎖国をめぐる秘話～

講師：平川 新 氏（東北大学名誉教授）

#### 【第2部】青森（文化）

テーマ：鳥観図絵師・吉田初三郎と八戸

～大正・昭和の観光ブームを築いた商業画家～

講師：小倉 学 氏（はちのへ街かどミュージアム館長兼学芸員）

詳細は申込みは、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.ireast.co.jp/tohokurekishi/>



【専用ホームページ】

## 旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるといった外国人旅行者が増加しています。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。再び東北への誘客を図るため、ご協力をお願いします。

### ●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアル

「オーナー登録の方法」「困ったときどうすればいいか」「どうやって口コミに返信すればよいか」などがわかります。是非ご活用ください。

[https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81\\_101\\_file.pdf](https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf)



「旅東北NEWS」VOL.030 2021年3月10日発行  
【発行】一般社団法人東北観光推進機構  
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階  
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293  
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

### 「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！